

社協だより

ささやま

8

2012年
第79号

農地復活 大作戦

第9次篠山市災害支援市民ボランティア
6月30日～7月2日 七ヶ浜町(宮城県)
津波で農地に流入した瓦礫の撤去作業
を行いました
農地に稲穂もどるまで復興は続きます

目次

- 2 法人会費お礼
- 3 篠山市災害支援市民ボランティア特集(第9次)
- 4 NEWS福祉
- 5 ファミリーサポートセンター
こんにちは、ヘルパーです!
- 6 Vボラナビ～ボランティアナビゲーション～
- 7 善意銀行だより
心配ごと相談日
- 8 情報ボックス
あとがき

法人会費、賛助会費にご協力いただきありがとうございました

市内の法人企業様に社協会費を募集させていただきましたところ、厳しい経済情勢にもかかわらず、140社の法人企業様から温かいご支援とご協力をいただくことができました。ここに謹んでお礼申し上げます。

ご協力いただきました会費は、地域福祉の活性化のため有効に活用させていただきます。

社会福祉法人 篠山市社会福祉協議会 会長 羽田登喜雄



《法人会費》

アイランドフューチャーコーポレーション(株)
芦森工業(株)
アルパインローズビレッジ
(株)イー・エス・シー
石井造園緑化(株)
石橋建設(株)
伊丹産業(株)篠山工場
井上金属製作所(株)
井本スレート(株)
岩崎電機製作所(株)
(株)岩本組
(株)岩本工業
(株)いわや
(株)ウエハラ
上山建設(株)
菟原商店(株)
(株)上見組
(株)エフォート・レジソ
大江板金(有)
大上観光バス(株)
大木モータース(有)
大阪電研(株)
(有)大西商店
(株)おゝみや
(財)大山振興会
オザワ化成工業(株)
(株)小田垣商店
カクマツモータース(有)
梶谷鉄鋼建設(株)
(株)かね徳篠山工場
(株)狩場タイヤ商会
(株)カルテック
岸本建設(株)
(株)キャピタル製作所
(株)協栄電興
協和(株)篠山事業所
近又(株)
クインオート(株)
栗山米穀(株)
(有)グリーンヒル総合保険事務所
ケアハウス丹波の郷
ケンミン食品(株)篠山工場
(株)神山組
(株)コスギ
(有)古杉企画
小西運送(株)
(有)小西のパン
(株)コミナミ

(有)今田製材建築店
(株)酒井工務店
酒井自動車(株)
(有)酒屋くん丹南店
篠山オートセンター協業組合
篠山環境開発(株)
篠山ゴルフ倶楽部
篠山自動車サービス(株)
篠山証券(株)
(有)篠山ツーリスト
(株)篠山ホームガス
三丹物産(株)
(有)獅子銀
ジャパンビレッジゴルフクラブ
栖田内科
諏訪園
(株)清明堂
摂津味噌(株)
(株)大和建設
高田タクシー(有)
多紀デンソー(株)
武元重機(有)
丹南ゴルフセンター
丹波開発(株)
(株)丹波きのこ園
丹波産業(株)
丹波田中畜産(株)
(株)テック
東播パーツ商会(有)
特別養護老人ホームやすらぎ園
特別養護老人ホーム和寿園
(株)中井工務店
仲田歯科医院
中野医院
(株)中山石渠和田寺霊園支店
にしき記念病院
にしき歯科
(有)西紀モータース
西日本三菱農機販売(株)
西村鉄工(有)
西本土木(株)
ニッコー物流(株)
日章アステック(株)篠山工場
(有)日昇堂
(有)橋本化学
畑休燃料(株)
(株)畠賢治商店
(有)畠石油店
(株)畑中自動車

畑燃料(株)
(株)波部商店
(株)パラエティーミート西紀古市店
阪鶴工機(株)
光オートサービス
(株)吹
(株)藤枝研磨工業所
藤本印刷(株)
藤本鉄工(株)
藤本林業所(株)
(株)藤原建具センター
(株)プリテック
フルマインド(株)
フレンド電装(有)
平和発條(株)
鳳鳴酒造(株)
豊菱産業(株)
(株)堀口
本荘自動車(株)
(有)前川運送
(株)マツオ
松下産業(株)
松本水道企画(株)
(有)萬半
(資)三国屋呉服店
(株)みずほトラベル
溝畑組
(有)みたけ
向井金属工業(株)
村上建具(有)
森田商事(株)
森田石材店(株)
(有)山内水道店
(有)山文不動産
(株)山本組
ユニットピアささやま
(株)夢こんだ
夢陶房(株)
吉田自動車工業(株)
吉野ゴム工業(株)
頼金自動車工業(株)
(有)レディースオート篠山

《賛助会員》

(株)創虹社

平成24年7月2日現在 (50音順・敬称略)

第9次

篠山市災害支援市民ボランティア 稲穂実る田に…

6月29日から7月2日まで、「東日本大震災・第9次篠山市災害支援市民ボランティア」が活動支援を行った七ヶ浜町は、宮城県中部に位置し、仙台市、多賀城市、塩釜市に隣接する人口19,627人、6.568世帯、面積13.27km²(周囲10km)の小さな町です。気候は比較的温暖で、寒暖の差が少なく、キャッチフレーズは、「うみ・ひと・まち・七ヶ浜」。海沿いに七つの集落があったことから、「七ヶ浜」と名づけられました。



菊池義徳さん(写真中央)から作業説明を受ける

この七ヶ浜町も、町の約30%が浸水し、被災家屋が約3,740世帯、102名の尊い人命を失い、今も仮設住宅で618世帯が厳しい生活を送っています。

七ヶ浜町の農地は低い土地にあり、その98%が津波被害を受け、塩害や沿岸部の住宅が被災し、住宅関係や車両等の大量の瓦礫が農地に流入したとのこと。今回の活動は、「農地復活大作戦」の支援。

震災当初は、家屋修繕や通学路の整備等、日常生活支援にボランティア活動は限られていましたが、本年4月、農地復興組合からの依頼により、農地の整備等の産業支援にもボランティア活動がひろまりました。農業の担い手が高齢者で、広大な農地を復活させる作業には限界があり、多くのボランティアが全国から駆けつけ活動しています。

支援活動初日は、七ヶ浜町復興支援ボランティアセンターから、当日の作業の説明を受けました。曇り空で暑さも少し和らいだ中、篠山市からのボランティア22名に加え、総勢327名が活動を行いました。大きな瓦礫は重機で撤去されましたが、農地の表面に大きな石(ブロック)、ガラス、住宅関連等の瓦礫がまだ残っており、それを拾い可燃、不燃ガラスに分別し、土のうにいれ撤去しました。この作業後に再び重機で農地を掘りおこし、地中からでてきた瓦礫をまた拾い集め、撤去する作業を3回ほど繰り返し、その後、塩害に強い大豆を植え、4~5年後に農地から海の塩分が抜けたあと、よ

うやく従来の稲作を行うとのこと。今は農地に水を入れて塩分を抜こうにも、下流の排水路が詰まったままのため、水を流しても抜けないとのこと。



農地に流入した瓦礫を拾い集める

2日目は、ときおり小雨のなか、総勢183名のボランティアが、昨日と同じ瓦礫撤去作業を行いました。ご指導いただいたボランティアセンターの菊池義徳さん(仙台市在住、70歳)は、自身も被災し、被災後1カ月は何もする気がわかず、家に閉じこもっておられたが、一向に進まない復興を目前に、「何か自分ができることがあれば…」という思いから参加されている方です。今ではボランティアセンターのリーダーとして支援活動を行い、その活動は219日



撤去作業が終わった農地には塩分に強い大豆が植えられる

におよぶとのこと。その菊池さんが最後に私たちに、「どうか、被災地のことを忘れないでください。そして、またいつかこの地を訪れてください。それが私たちの復興への勇気となります。」と語られた言葉が印象的でした。

2日間の支援作業を終えた第9次市民ボランティアは、7月1日の夜、七ヶ浜町をあとにしました。車中で参加者から「まだまだ先の長い支援になりそうだが、また参加したい。」「被災地を目の当たりにして、これからも微力ながら協力したい。」「今回、初めて七ヶ浜町を知った。まだ、支援が行き届いていないところがあれば参加したい。」などの声が寄せられました。

七ヶ浜町復興支援ボランティアセンターには、「ともに前へ 七ヶ浜」のTシャツを着たボランティアを見かけます。遠く離れても、「ともに歩む復興、忘れない東北」

(文中で「瓦礫」と表記していますが、本来は捨てたものでなく、津波で流された生活必需品です)

(畑中寿)

地域で連携して福祉活動に取り組むために

～民生委員児童委員、民生児童協力委員、福祉委員の三者合同研修会を開催～

5月から7月にかけて、市内19地区ごとに、民生委員児童委員、民生児童協力委員、福祉委員の三者合同研修会を開催しています。

この研修会は、同じ地域で活動する三者が連携して地域福祉活動に取り組むことをめざして、民生委員児童委員協議会と福祉委員連絡会の各理事が事前に話し合い、会場や日程等を調整、企画しました。

研修会では、社協の地区担当職員から「篠山市社会福祉協議会 地域福祉推進計画(第2次)」、地域包括支援センター職員から「地域包括支援センターの役割について」の説明を聞いた後、地区ごとに分かれて、地域の福祉課題やその解決に向けた取り組みについて、三者で何ができるのかを話し合う懇談会を行っています。

懇談会で出てくる話題は、一人暮らし高齢者の見守



三者合同研修会

りや、災害時の要援護者支援、認知症高齢者への支援、公共交通の問題等、簡単に解決できる問題ではありませんが、参加者からは、「この研修会を通じて、お互いの顔がわかり、地域の課題や情報が共有できた。」「継続的に三者が集まる機会が必要。次回は、課題に沿った研修会を開催したい。」「三者だけでは解決できないので、まちづくり協議会等、地域の関係団体とも顔合わせをしたい。」といった感想があり、今後の取り組みにつながる動きが見えてきています。(地域福祉課 奥山彩子)

伝えられた現場からの思い

—第13回篠山市社会福祉大会—



パネルディスカッションの様子

「地域の絆を深め、災害に強い地域をつくろう！」をテーマに、6月17日(日)、市立四季の森生涯学習センターにおいて、福祉関係者など約450名の参加を得て、「第13回篠山市社会福祉大会」を開催しました。

当日は、地域福祉功労団体表彰として、サロン活動では「春日江」「垣屋」の2自治会と、「給食福祉サービス金曜日」に表彰を行いました。

また、篠山市善意銀行に多額の金銭預託をされ、社会福祉事業の充実に貢献いただいた「丹波ささやま農業協同組合」「篠山市仏教会 篠山支部」の2団体に感謝状

を贈呈しました。

講演は、石巻市社会福祉協議会の阿部由紀さんあべ よしりによる、「東日本大震災の現場から伝えたいこと」と題して行われました。発災後から現在に至るまでの苦悩や、現地で本当に求められる支援の在り方や今後の支援ニーズなどをお話しいただきました。その中で今後の支援ニーズとしては、特に専門的な方による個別支援が必要であると話されました。

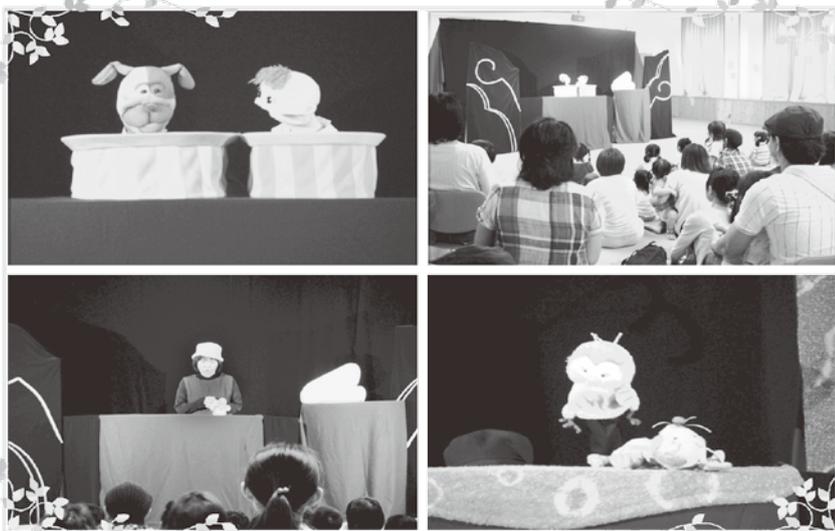
また、講演に続いて、パネルディスカッションを行いました。篠山市災害支援市民ボランティアの倉橋久志さんくらはしひさし、味間地区まちづくり協議会の石井勝さんいし いまさる、丹波新聞社記者の森田靖久さんもりた やすひさにご登壇いただき、それぞれが震災後から行われてきた活動や、災害に強い地域づくりのために地域で取り組んでいることなどお話しいただきました。

最後に、阿部由紀さんから、会場にお越しいただいたみなさんに、伝えたいこととして、「大災害発生時、自分が生き残る側として考えるのではなく、死ぬ側に立って考え、危機感を持って防災意識を高めてください。」と話されました。

篠山市社会福祉協議会では、災害に強い地域づくりのために、個人や団体がつながりを持ち地域福祉の推進が行えるよう、福祉社会の実現に努めていきます。

(総務課 中田絵理)

子どもの笑顔いっぱい！ 「くわえ・ぱぺっとステージ」



6月17日(日)、四季の森生涯学習センターで第2回ファミリーサポートセンター交流会を開催しました。京都に拠点を置く「くわえ・ぱぺっとステージ」による人形劇「ふくろうぼうや月夜のぼうけん」と「ぶびいのぶい！」・・・愛らしい表情たっぷりの人形がコミカルに動き回り、約70名の参加者は終始笑顔でした。

平成23年度から、第2回交流会は社会福祉大会と同時開催となり、社協が行う子育て支援として「赤い羽根共同募金運動」の配分事業より助成を受け開催しています。

社会福祉協議会は、今後も子育て支援活動を継続して行います。

こんにちは、ヘルパーです

問い合わせ先 ☎590-1880

篠山市社会福祉協議会 訪問介護事業所

私は社会福祉協議会のホームヘルパーとして訪問介護に携わり、今年で8年目になりました。私事ですが、昨年約1年間、産前産後・育児休暇を頂き、この4月から職場復帰しております。

職場復帰と共に始まったのが、2012年度介護保険制度改正です。私が在職している8年の間にも何度か介護保険制度は改正されています。

今回の改正のなかで、ご利用者の皆様に大きく影響したもののひとつに、訪問介護サービスの生活援助における訪問時間の区分変更があります。

生活援助とは、調理・掃除・洗濯・買物などを支援するサービスです。

これまでは「30分以上60分未満」「60分以上90分未満」という時間区分でしたが、改正後は「20分以上45分未満」「45分以上」という時間区分となりました。

従来60分の計画で訪問していたところを、一律に45分間に短縮するという施策ではありませんが、今回の改正を機に、当事業所でも、一人ひとりのご利用者の訪問介護計画を確認し、この方への本当に必要な支援は何か？という視点に立って見直しを行い、

自立支援にむけたサービスを検討する機会となりました。

見直した点については、ご利用者や家族の皆様、ケアマネージャー

に提案を行い、同意を頂いた上で、新しい計画に基づいたサービスを提供させて頂いております。

しかし、時間短縮された分、余裕をもったコミュニケーションがとりにくい状態となり、課題は残されていますが、今後もご利用者・家族の方々との信頼関係を大切にし、ご本人が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、ケアマネージャーなど他職種と連携しながら支援していきます。

(エサシカ朋子)



月2回の研修会の様子

「傾聴ボランティア養成講座」を開催しました

6月11日(月)から始まった「傾聴ボランティア養成講座」(4回コース)が、7月2日(月)に終了しました。

講座には38名の方々が参加され、傾聴ボランティアに必要な心構えや技術を学びました。

1回目の講師には、近畿医療福祉大学非常勤講師の酒井節代さんをお招きし、「高齢者のこころとからだ」についてお話しいただきました。傾聴ボランティアは高齢者を対象とすることが多いため、年をとるにつれて起こる心身の変化や、認知症についてグループワークを交えて学びました。2、3回目の講師には、『心理スペース ぼれぼれ』の稲松由佳さんをお招きし、話の聴き方やあいづちの打ち方など、傾聴の技術を身につけるためにロールプレイを交えてお話しいただきました。



グループワークの様子

参加者は、「その人の不安や悩みに寄り添ってお話しすることが大事だと分かった」「つい自分の話をしがちだが、じっくり相手の話を聴く大切さを学んだ」などと話されていました。

現在、『傾聴ボランティアグループ「ラビット」』が活動されていますが、今回の講座を受けて、数名の方が一緒に活動してみたいと参加を希望されました。

みなさんの今後のご活躍が楽しみです!

お知らせ

ひょうごボランティア基金

県民ボランティア活動助成 エントリー受付中!

- 受付期間 8月31日(金)まで
- 助成金額 1団体あたり上限3万円
※エントリー数により助成金額が決定します
- 申請条件
 - ・兵庫県内において、継続的にボランティア活動を行う法人格を持たない団体であること
 - ・構成人数が5人以上であること
 - ・年度中にボランティア活動を12日以上行う予定であること
 - ※その他、詳しくは篠山市社会福祉協議会へお尋ねください
- 実施主体 ひょうごボランティアプラザ(兵庫県社会福祉協議会)
- その他 パンフレットおよびエントリー書は、篠山市社会福祉協議会にあります

〈申し込み・問い合わせ先〉 篠山市社会福祉協議会 担当:小村 美晴 TEL 590-1112

篠山市の福祉指標

6月末現在

地区	人口(人)	65歳以上人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下人口(人)	年少率	増減
篠山	13,143	3,717	28.2%	→	1,639	12.4%	↓
城東	3,583	1,248	34.8%	↑	313	8.7%	↓
多紀	3,476	1,382	39.7%	↑	284	8.1%	→
西紀	4,392	1,224	27.8%	↑	569	12.9%	→
丹南	15,992	3,814	23.8%	↑	2,140	13.3%	→
今田	3,774	1,034	27.3%	↑	412	10.9%	↓
合計	44,360	12,419	27.9%	→	5,357	12.0%	↓

ご協力ありがとうございます!

篠山市社会福祉協議会では、「東日本大震災 救援募金」においてみなさまの熱い思いとしてお預かりした募金を中央共同募金会を通して、被災地へお届けします。今後も引き続きご協力をお願いします。

義援金総額

7,067,115円

(235件)

※6月29日現在



心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

- ・丹南健康福祉センター**
 第1・3・5金曜日 9:00 ~ 11:30
- ・篠山市民センター**
 第2・4金曜日 9:00 ~ 11:30
- ・城東公民館**
 4・8・12月 第3木曜日 13:30 ~ 16:00
- ・ハートピアセンター**
 5・9・1月 第4木曜日 13:30 ~ 16:00
- ・西紀支所**
 6・10・2月 第1木曜日 13:30 ~ 16:00
- ・今田まちづくりセンター**
 7・11・3月 第1木曜日 13:30 ~ 16:00

*当日が祝日の場合は、翌週に開催します

善意銀行だより

5・6月分

(敬称略)

— 金銭預託 —

松本美千代(5、6月)(井ノ上)	善意の預託	6,000円
桂む雀フレンドシップコンサート実行委員会	善意の預託	18,750円
篠山市仏教会篠山支部	善意の預託	88,997円
藤木千皓(5、6月)(小中)	善意の預託	70,000円
井関道夫(曾地奥)	善意の預託	20,000円
栗柄不動クラブ	善意の預託	596円
酒井基雄(宮田)	善意の預託	30,000円
黒住教日置教会所	善意の預託	10,000円
黒住教婦人日置支会	善意の預託	10,000円
梶川輝子(栗柄)	善意の預託	3,000円
T.O.(5、6月)(小多田)	善意の預託	20,000円
匿名	善意の預託	100,000円
匿名	善意の預託	2,000円
善意の募金箱	善意の預託	868円

— 指定預託 —

沢田陽子(糯ヶ坪)	東日本大震災義援金	150,000円
井関昭(殿町)	介護機器貸出事業	5,000円

— 物品預託 —

芦田富基子(5、6月)(今田町芦原新田)	鉢植えの花14鉢	今田地区ひとり暮らし高齢者
飯田成代(5、6月)(垣屋)	折り紙細工	給食サービス
前田ふみ子(西新町)	折り紙小物150個	一人暮らし高齢者
栗柄不動クラブ	竹ぼうき40本、タオル96枚、石けん76個他	小中学校、老人福祉施設、障がい者福祉事業所
小谷重二(知足)	えんどう豆14kg、玉ねぎ90kg、ねぎ5kg、ほうれん草13kg、大根20kg	給食サービス、認知症対応型通所介護施設
高見郁雄、映子(小坂)	えんどう豆6kg、干しいたけ1.2kg、きゅうり3.2kg	給食サービス
西澤昭美(5、6月)(栗柄)	折り紙細工	給食サービス
篠山小学校育正会	紙おむつ、タオル、靴下他	老人福祉施設
山本恒喜(波賀野新田)	レタス45個	給食サービス
松永隆弘(二之坪)	歩行者	老人福祉施設
赤松美千代(黒岡)	おもちゃ2個、ぞうきん5枚	病院内託児所
火置弘	絵画1点(30号)	石巻市内福祉施設
匿名	米150kg	給食サービス

初心者 コース

篠山市点訳奉仕員 養成講座を開催します

点字は、視覚障がい者のための情報手段で、6個の点の組み合わせで表現します。

この講座は、点訳を学ぶことによって視覚障害者への理解を深め、視覚障害者への広報活動等の支援者として期待される点訳に必要な技術等を習得した点訳奉仕員を養成することを目的としています。

みなさんのご参加をお待ちしています！

と き 9月25日～11月27日
毎週水曜日 10:00～12:00 全10回

と ころ 四季の森生涯学習センター 東館

講 師 丹南点訳アイ・愛サークル

受 講 料 無料(テキスト代1,050円は自己負担)

申込締切 9月18日(火)

〈申し込み先・問い合わせ〉

篠山市社会福祉協議会 担当:小村美晴 TEL590-1112

食事サービスのご利用案内

篠山市社会福祉協議会では、日々の食事づくりに困っておられる高齢者や障がいのある方を対象に、手渡しによる安否確認を兼ねた昼食の宅配サービスを実施しています。

お申し込みには、担当民生委員さん等に世帯状況の確認を受けていただく必要があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

事業名	給食サービス事業	配食サービス事業
申 請 先	篠山市社会福祉協議会	篠山市役所 保健福祉部 地域福祉課 高齢支援係
実 施 日	毎週水曜日	毎週金曜日
利用対象者	市内に在住し、調理が困難な、 ・70歳以上のひとり暮らし高齢者、 高齢者世帯 ・身体障がい者手帳2級以上の所持者 ・その他、民生委員及び社協会長が必要と認めた者	市内に在住し、 ・65歳以上のひとり暮らし高齢者、 高齢者世帯 ・身体障がい者手帳の所持者 ・要介護・要支援認定を受けている者 ・その他市長が必要と認めた者
利 用 料	1食450円	1食500円 ※減額の場合350円(減額には別途申請が必要です)
世帯確認者	民生委員児童委員	民生委員児童委員、介護支援専門員
調理・配送	ボランティア、障がい者福祉事業所	障がい者福祉事業所

〈申し込み先・問い合わせ〉

篠山市社会福祉協議会 担当:小西佑季 TEL590-1112

篠山市役所 保健福祉部 高齢支援係 TEL552-5346

松尾芭蕉が弟子の河合會良を伴い、元禄2年(1689年)に東北、北陸を旅した紀行文、おくのほそ道には、東北の情景を詠んだ俳句が多くあります。なかでも立石寺(山形市)で詠んだ「閑さや岩にしみ入る蝉の声」は、有名な一句です。▼東北の三大夏祭りは、青森ねぶた祭で始まり、秋田竿燈まつり、仙台七夕まつりと続きます。▼東北三陸部は、震災により家や街の灯りが少なくなり、遠く離れた星を見るのができます。▼しかし、復興とともに、少しずつ明るさを取り戻し、星の見える数も減っています。▼七夕は、短冊に願いを書き、笹につるします。今年の七夕には、「復興に三陸の星遠くなり」と句を添えました。(畑中寿)

あとがき

篠山市ファミリーサポートセンター

平成24年度 **子育て支援講座(会員養成講座)**

安全にファミサポ活動を行っていただくための講座です。またファミサポや子育てに関心をお持ちの方なら、会員さん以外の参加も大歓迎！おともだちと一緒に申し込みください。

と き :平成24年9月13日(木) 10:00～15:00

と ころ :四季の森生涯学習センター 東館

定 員 :20名

託 児 :あり(10名まで要予約)

受 講 料 :無料

申込締切 :9月6日(木)

※昼食は各自でご用意ください



10:00～11:30 講義「子どもの身体の発達と病気」
～年齢別にみる特徴～
講師 篠山市保健師

【休憩・昼食】

12:10～13:10 講義・実技「子どもの遊びと関わり方」
講師 篠山市立保育園長

13:30～15:00 講義・実技「AEDと心肺蘇生法」
講師 篠山市救急救命士



第2回 フォローアップ講習会(全会員対象)

「待つこと・それは今を大切に育てること」

～自立心の芽生え・それは甘えることから始まる～

と き :平成24年9月27日(木) 10:00～11:30

と ころ :四季の森生涯学習センター 東館

講 師 :「さくらこどもセンター」代表
心理カウンセラー 松本緑さん

定 員 :20名

託 児 :あり(6ヵ月以上の子ども、10名まで要予約)
※4ヵ月以上6ヵ月未満のお子さまは、会場内で一緒にお聞きください
※託児用品は、ひとつにまとめてお持ちください

受 講 料 :無料

申込締切 :9月20日(木)

※子育てふれあいセンター、子育て支援連絡会との合同事業です



子ども一時預かり“かんがるー”

と き : 8月23日(木)・9月20日(木)

※10:00～12:00(受付9:45～)

8月10日(金)

※この日のみ13:30～15:30(受付13:15～)

と ころ :四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)

定 員 :10名(生後6ヵ月～就学前のお子さん)

利用料 :子ども1人につき 1回500円

申込締切 :各実施日の1週間前までにお申し込みください

※利用には申し込みが必要です。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

～詳しくはファミサポまで～



申し込み・問い合わせ先

篠山市ファミリーサポートセンター
TEL 590-1388 担当 林 直美